35歳の若さで初当選して以来、7期28年にわたって町議会議員をつとめられた鈴木繁さんが亡くなられた。

鋭い政治感覚をもって、町政の一翼を担ってきた人だけに惜しまれてならない。

同じ上町に生まれ育ったため、一貫して身近かなところからその存在を見聞きしてきたが、青年時代の活動はことのほか印象深い。

敗戦の傷跡がいえず、苦しい耐乏生活を強いられていた若者たちを集めては、素人演芸会や草野球を催し明るさを取戻させるなど、熱意溢れる活動は、気さくな人柄とも相まち好感をもって迎えられていたが、神出鬼没の活動を続けるこの人についた愛称が、いかにも戦後らしく〝飛行機〟。

東奔西走の活躍ぶりが偲ばれて懐かしい。

こうした活動が、やがて議会へ送り出される要因となるわけだが、その後の子供会や老人クラブの発足なども、鈴木さんの知恵と努力に負うところが大きかったと聞かされている。

とりわけ、統合中学校の建設にあたっての働きは、この人ならではのものがあり、今もって語り草となっている。

議会人としては、面倒みの良さや庶民的な人柄から支持者も多く、選挙での強さは群を抜いていたが、常に勤労大衆の味方として、弱者救済につとめた信念の人でもあった。

その議員歴をひもといてみると、五年近くの議長時代には、県の町村議会議長会々長など要職を歴任、議長職を退いてからも同議長会の特別顧問に就任するなど、華々しい経歴をもつ。

年代からみても、燃焼し尽くしたとは思えないが、町行政の中にはこの人の提言や発想が息づく部分も多く、町発展の功労者に違いはなく、〝正六位勲五等瑞宝章〟の叙勲も決定している。

「働くことも大切だが、自分の健康を忘れぬように。私の末路をよい教訓にしなさい。」病床に見舞った際の最後の言葉であった。

逝く夏―せみしぐれが空しく胸を打つ。

〔総務課・片山輝夫〕

「大総新道」と決定
町道坂田遠山線の愛称

65点の応募作品の中から選定しました。〈敬称略〉

入選「大総新道」
土屋喜美枝（東町）
伊藤信行（中台）

佳作「横芝やまびこライン」
伊藤明美（姥山）

佳作「横芝グリーンライン」
宇佐美啓二（三軒家）
伊藤真由美（遠山）

佳作「坂田池バイパス」
河本泰興（東町）

町と議会の動き 8月

町長

3日 道路整備期成同盟会連協総会 **千葉市**
4日 東陽病院議会全員協議会 **光町**
6日 成田用水理事会 **成田市**
7日 成東高校九十九会総会 **成東町**
8日 自民党移動政調会 **東金市**
16日 町道坂田遠山線愛称選考会
17日 郡市広域行政組合議会 **東金市**
18日 道路河川協会山武支部総会
移動町村会
井上参議院議員との懇談会（19日まで） **栃木県**
21日 郡市民体育大会 **成東町**
22日 海匝医師会役員と東陽病院増床に伴う協議会 **光町**
23日 総務常任委員協議会
24日 昭和キャボット社来庁
決算監査（25日まで）
25日 県主催行政懇談会 **千葉市**
26日 九十九里地域水道企業団議会 **東金市**
東陽病院建設委員会 **光町**
30日 郡市広域水道企業団議会 **東金市**

議会

4日 東陽病院議会全員協議会 **光町**
6日 町道坂田遠山線愛称選考会
11日 臨時議長会 **東金市**
17日 郡市広域行政組合議会 **東金市**
21日 郡市民体育大会 **成東町**
23日 総務常任委員協議会
25日 県主催行政懇談会 **千葉市**
26日 九十九里地域水道企業団議会 **東金市**
30日 郡市広域水道企業団議会 **東金市**

附寄

福祉のために
北清水夏祭・バザー売上金
三万二千三百円
ありがとうございました。